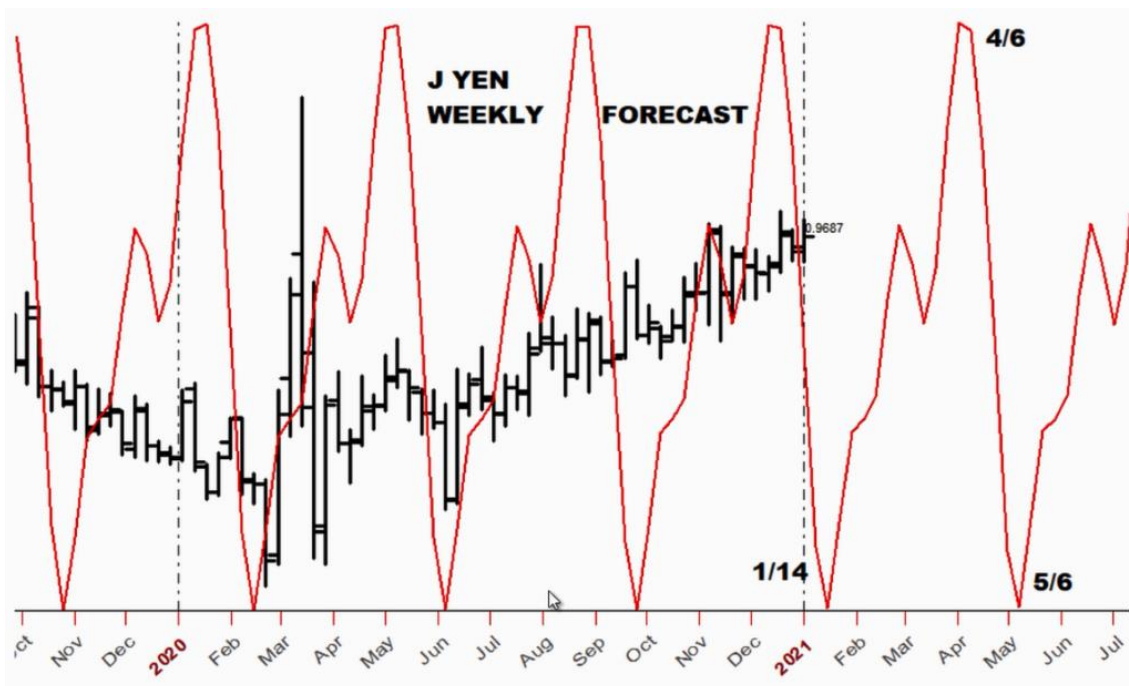
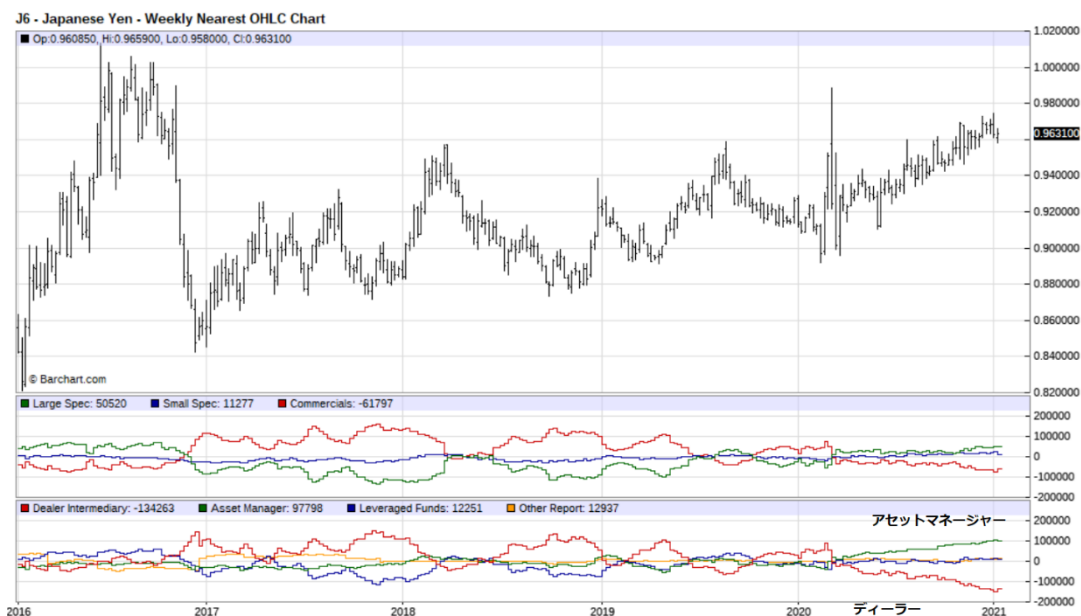


日本円通貨先物市場



週刊ラリーTV 2021年1月2日収録より

日本円通貨先物は1月14日にサイクルボトムがつけている。しかし、このサイクルを日本円通貨先物のCOTレポートは否定している。ラリー・ウィリアムズは長くCOTレポートの分析を利用して市場内部構造の変化を探ってきている。しかし、COTレポートがCFTCによって細分化されている点に目を向けていない。



上記下段は4区分されている DCOT レポートである。パンデミック以降、米ドル安を懸念したアセットマネージャーによって日本円通貨先物は買われている。アセットマネージャーはファンド筋とは異なり、どちらかと言えばコマーシャルズと同じで先物市場においてはヘッジを目的している。DCOT レポートにおけるディーラーはコマーシャルズと同じであるが、彼らは日本円通貨先物を売りヘッジしている。つまり、アセットマネージャーの円買いヘッジとディーラーの円売りヘッジがにらみ合っている。米ドル安が進行したことで、双方のヘッジポジションは大きく積みあがった。どちらもヘッジポジションを閉じていないため、日本円通貨先物市場に大きな動きは起きていない。アセットマネージャーがヘッジポジションを調整するときは米株式市場が調整局面に突入するときである。

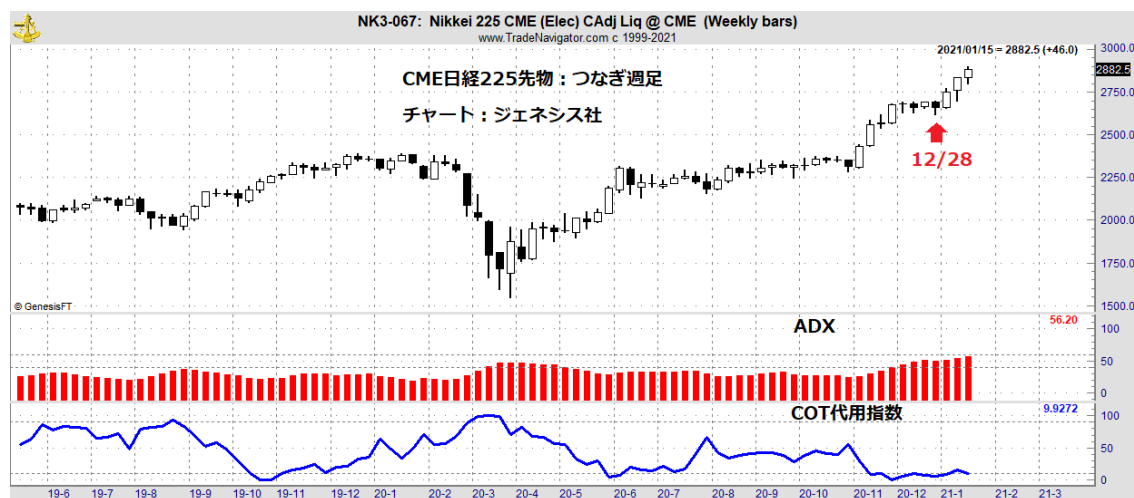


チャート:ジェネシス社

OBV は依然、日本円通貨先物が堅調に推移すると示している。二点に縦線をひいたが、引け安になっている。しかし、OBV は上昇して、価格の下げに逆行している。ここでは日本円通貨先物のサイクルを肯定し、円高基調が継続すると示唆している。しかし、シーズナルパターンは下降中であり、サイクルボトムと一致していない。

1月13日の高値を超えて上げると、再び円高が進行する。一方で、1月11日の安値を割つてくるとOBVを否定して0.9500まで落ちていく。アクションポイントがマーケットからいづれも近く、日本円通貨先物に注目したいところであるが、すべてはアメリカの株式市場次第である。S&P500、DJIAが大きく調整して押されないとアセットマネージャーは円買いヘッジをはずさない。二点のアクションポイントをブレイクして日本円通貨先物が動くことを期待しているが、サイクルピークである4月6日まで大きく動かない可能性が高い。

CME 日経 225 先物

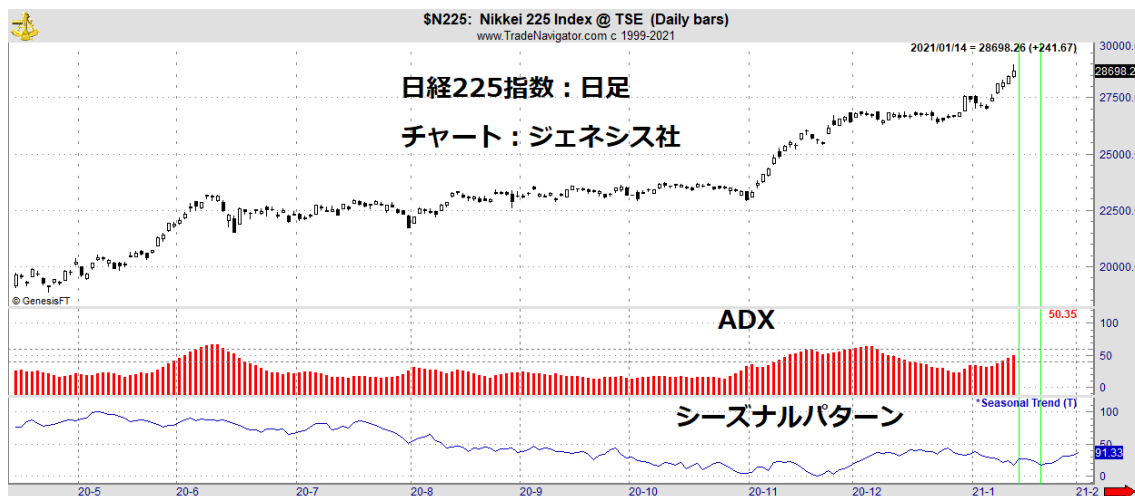


大証日経 225 先物市場には、CFTC が発行している COT レポートのような取引明細区分データがない。そこで、CME 日経 225 先物のデータを代用して分析する。

2020 年 12 月の最終週に 12 月の第 3 週の安値を割って下げる場面もあったが、ブレイクダウンは失敗に終わり、2021 年 1 月の第 1 週に先月の高値をブレイクして上昇に転じた。

その頃、トレンドの強さを示す ADX はすでに 40 を超えて警告ゾーンに突入し、COT 代用指数はコマーシャルズによる売りがかなり溜まってきていた。週足データでみるかぎり、上昇トレンドは継続中であるが、ADX はトレンドの終焉が間近に迫っていることを警告している。また、引き続き、コマーシャルズは売りヘッジポジションを積み上げてきている。

CME 日経 225 先物市場は転換時期にきているのか、シズナルチャートを使って確認する。



日経 225 指数はここまでシーズナルパターンに反して上昇してきている。この上昇トレンドの強さは ADX の上昇によって裏付けられている。今、ADX は 40 を超えて警告ゾーンに突入している。また、シーズナルパターンによると、日経 225 指数は 1 月 15 日から 21 日まで下降する時期と示されている。



NY 銅先物市場は CME 日経 225 先物を約 5 日、先行している。ラリー・ウィリアムズは中期展望に着眼することが多い。しかし、ここでは他市場をもとにしたフォーキャストラインのなかでも短期先行市場である NY 銅先物市場に注目する。1 月 15 日から短期フォーキャストラインは下降している。これはシーズナルパターンと一致している。CME 日経 225 先物は 15 日から 22 日まで押されてくる可能性が極めて高い。上昇トレンドでロングしている場合はトレーリングストップをマーケットに近づけてディフェンスモードにスイッチする時期にきている。但し、長期上昇トレンドが下降へ転じる兆しはなく、下げてきたところで、再び買い建てることになる。

E-mini S&P500 先物

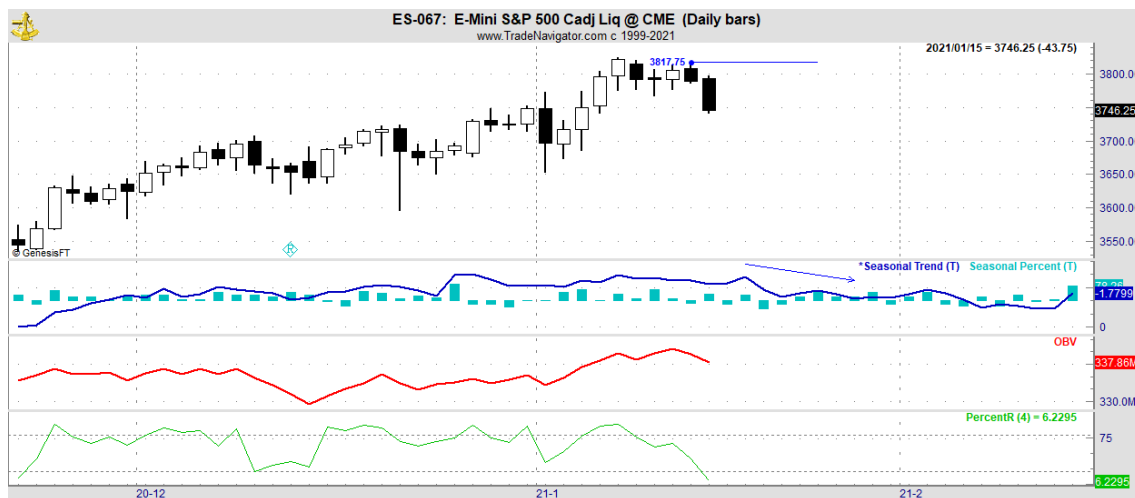


チャート:ジェネシス社

E-mini S&P500 先物はシーズナルパターンに沿うように徐々に頭が重くなってきている。しかし、OBV は依然、堅調に推移している。まだ長期上昇トレンドに変化の兆しはみられない。短期%R はすでに売られすぎになっていることから、今週、E-mini S&P500 先物は反発する可能性が高い。チャート上の横線は 1 月 14 日の高値であるが、このポイントを超えていかないと高値を切り下げとなり、短期的な売りを仕掛けるチャンスである。もちろん、長期的な視点から押し目を拾うスタンスで望むのが賢明である。

12 月の安値インディケーターを忘れるな！

但し、アメリカの株式市場における中長期投資で注意すべき点がある。それは、2020 年 12 月の安値インディケーターである。これは、ラリー・ウィリアムズとも親好が厚いジェフリー・ハーシュが提唱するアメリカの株式市場の今後を予測するうえで重要なポイントである。

S&P500 と DJIA は前年の 12 月の引け安値を第 1 四半期でブレイクダウンすると大きく調整する。2019 年、そして、2020 年、このインディケーターは素晴らしい警告を発信していた。

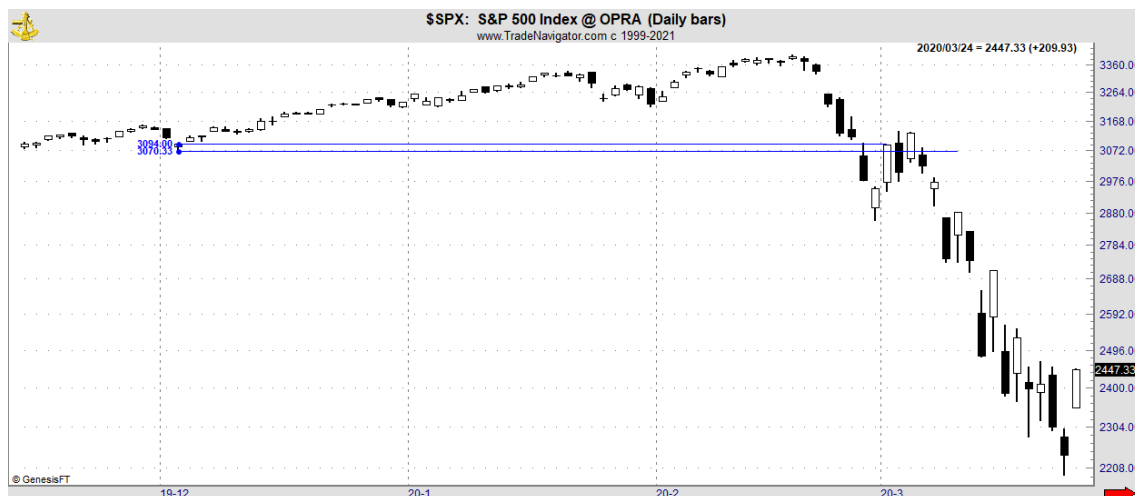


チャート:ジェネシス社

S&P500 は、2020 年 2 月に 2019 年 12 月の引け最安値と最安値をブレイクした。その後、重要なポイントまで買い戻されたが、結局、ピークから 20%を超える下落となり、ベアマーケットに突入した。

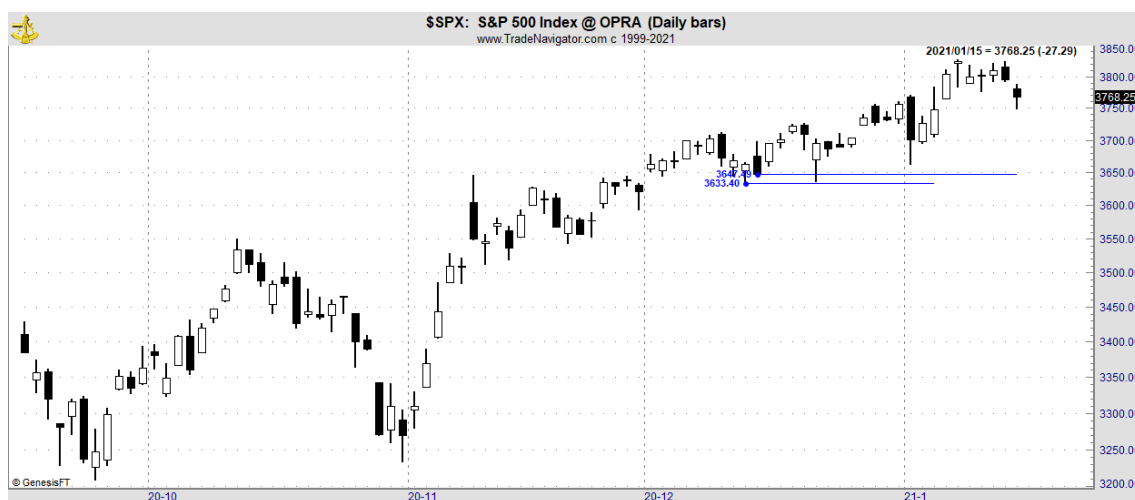
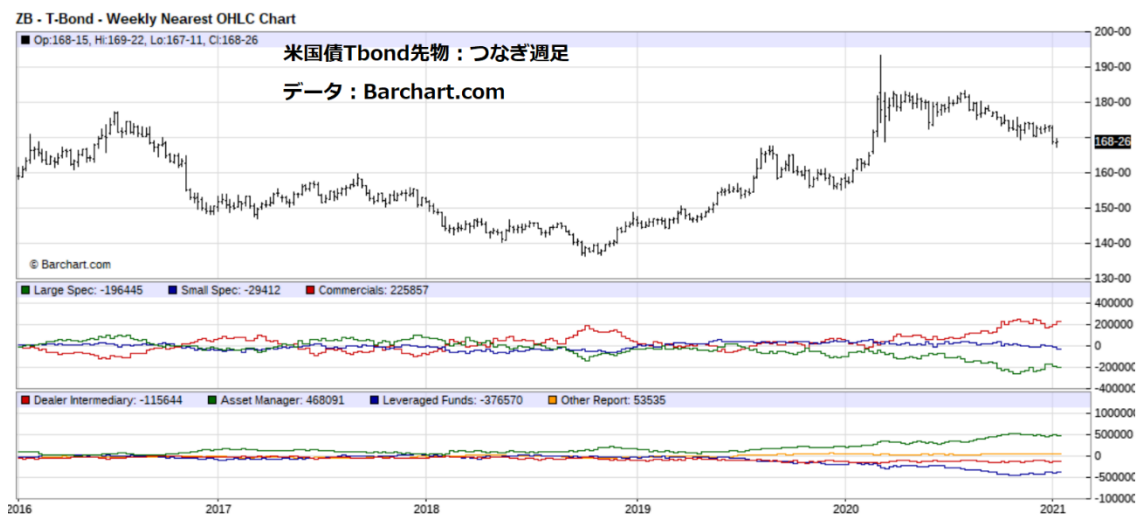


チャート:ジェネシス社

仮に、E-mini S&P500 先物が短期的に下げても S&P500 の重要なポイント、3,647.49 と 3,633.40 の手前がサポートになる。このポイントを割ってきた場合は、特に米株式を保有している投資家はプットオプションの購入などディフェンスモードにスイッチするべきだろう。

米国債 Tbond 先物



相変わらず、アセットマネージャーは Tbond 先物を買ってヘッジしている。過去 5 年間で最高レベルの買い持ちになっている。それに対して、ファンド筋は Tbond 先物をショートしているが、少し買い戻していた。そのため、再び下降してきた Tbond 先物を慌てて売ったようだ。

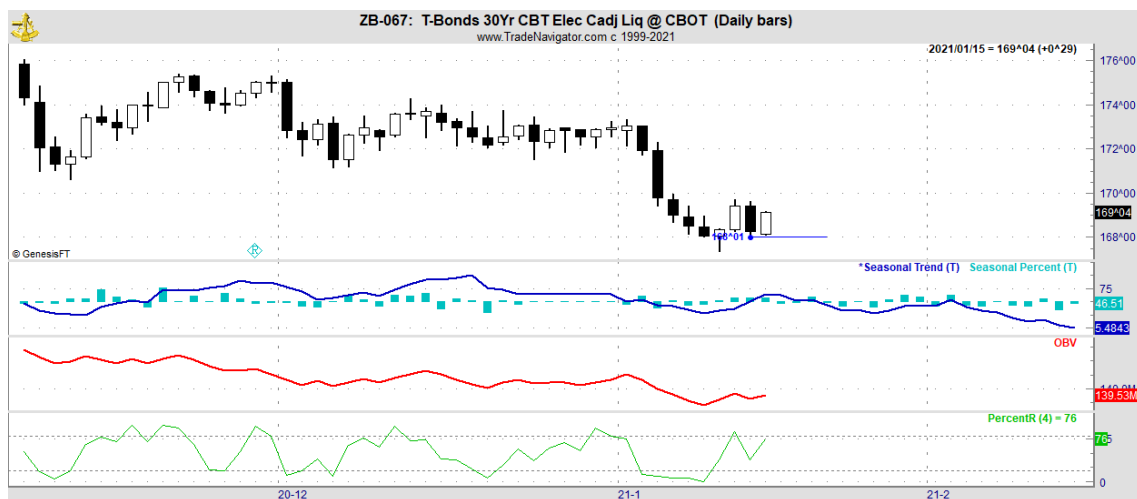


チャート:ジェネシス社

日足の OBV は徐々に買いが入ってきている様子を示している。しかし、シーザナルパターンが下降トレンドのなかで下げていくことになり、1 月 14 日の安値をブレイクダウンすると再び下落スピードが加速する。一方で、1 月 13 日の高値を超えてくると買い戻しが活発になる。その際、日足の OBV に注目すべきだ。出来高によっては反発から上昇に転じるサインを発信する。

NY 金先物

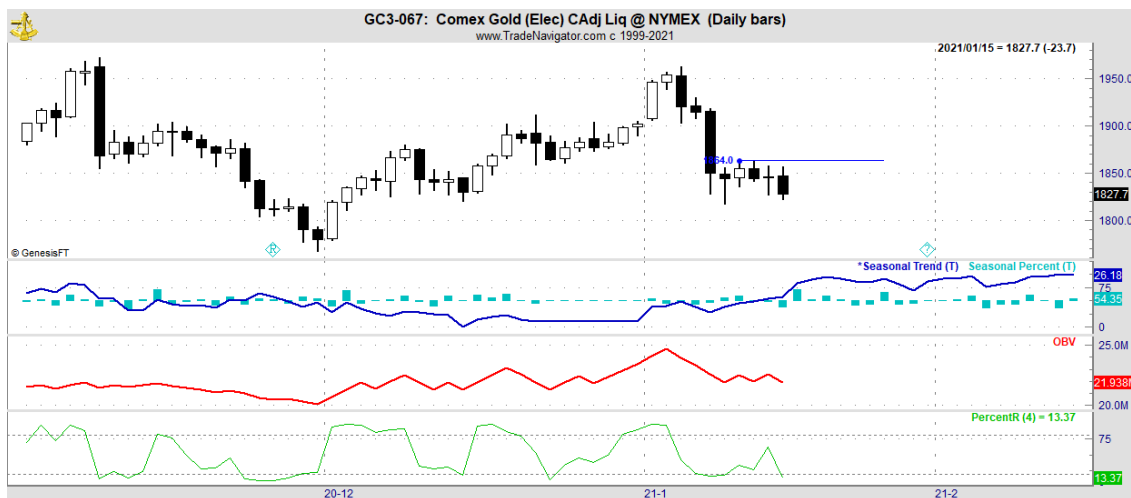
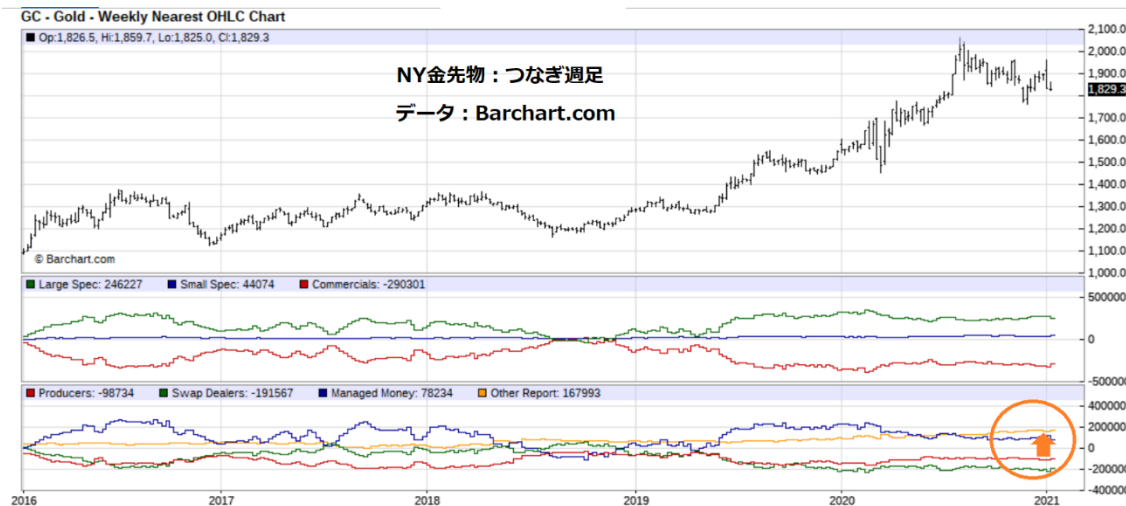


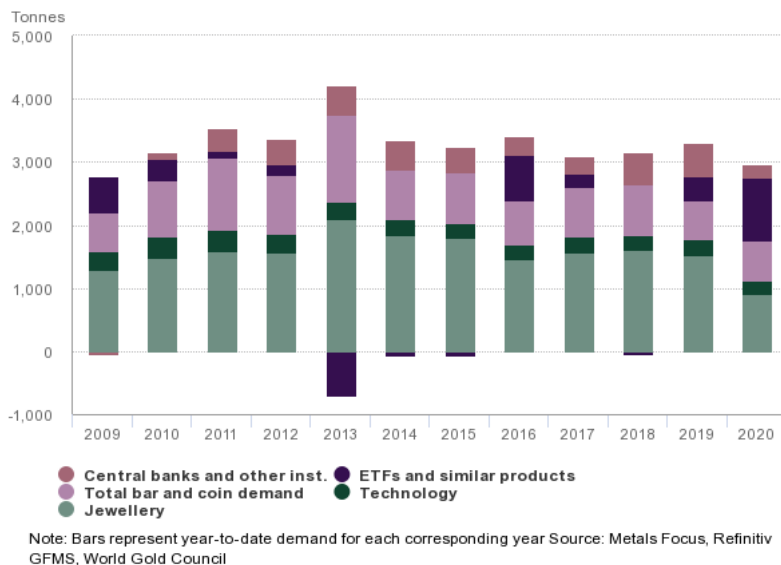
チャート:ジェネシス社

シーズナルパターンに反してゴールドは下降してきた。しかし、OBV はまだ安値を切り下げていないため、まだ押し目買いのスタンスである。1 月 12 日の高値は買いのエントリーポイントになる。



ゴールドの COT レポートを分析した結果、パンデミック以降、一般投資家の買いが目立つ。上記、マル印に矢印で示した Other Report は一般投資家などである。2020 年 6 月以降、順調に金を買い集めている。

YTD demand on a par with 2009



2020年、金のETFによるゴールドの需要はかなり増加した。一般投資家はパンデミック以降、かなり金の保有率を高めている。これまでは一般投資家の買いは売りの先行指標とされてきたが新型コロナウイルス感染拡大のなか、彼らは金を手放さないようだ。最近のゴールドに最も強く影響を与えているのは米ドルである。これまで軟調に推移した米ドルが買い戻されるなか、NY金先物の頭も重くなっている。1月は金にとって上昇する一番の月だが、シーズナルパターンに反して下げているので、下降スイングは想像以上に強くなる可能性を秘めている。

NY原油 WTI先物



チャート: ジェネシス社

上記チャートは COT レポートの過去 6 ヶ月間、青線のファンド筋と赤線のコマーシャルズのポジション推移を指数化している COT インデックスである。先週、このインデックスの拡大幅が最大になった。ファンド筋の買いとコマーシャルズの売りが極端に開いている。通常、ここから NY 原油 WTI 先物市場は調整局面に突入する。

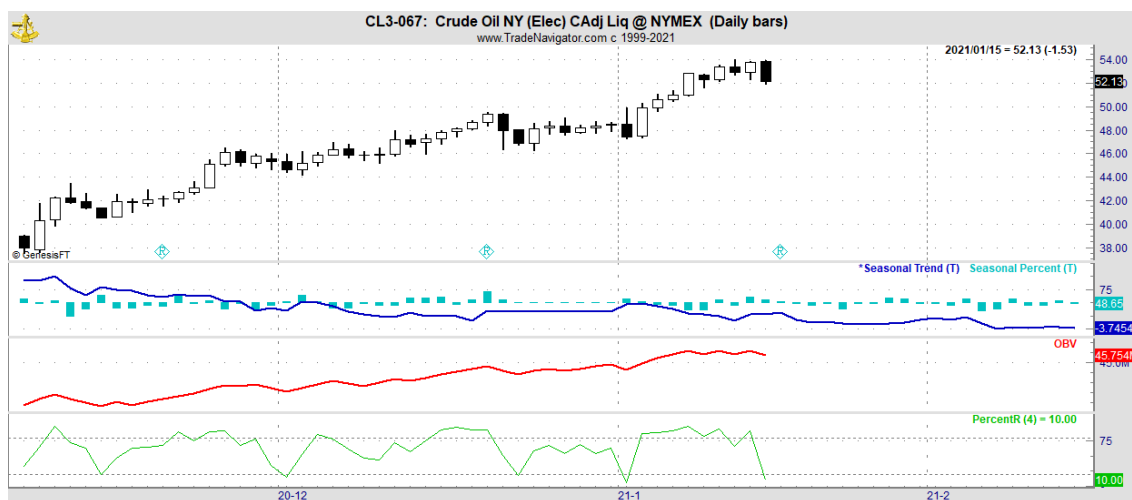


チャート:ジェネシス社

この時期、NY 原油先物は下降している。シーズナルパターンに反して、ここまで約三カ月間、上昇してきたが、ファンド筋とコマーシャルズのポジションが乖離していることで、売られやすくなってきている。短期%R は売られ過ぎになっているため、ここから反発して、1 月 13 日の高値を超えないようだと高値の切り下げパターンを形成する。それをパターンを確認してから NY 原油先物をショートしたい。

=====

SEAHAWK PTE LTD が提供するレポートは一般に公開されている情報に基づいて記述されておりますが、その内容の正確さや完全さを保証するものではありません。本レポートはあくまで参考情報であり、SEAHAWK PTE LTD および二次的に配信を行う会社は、如何なる金融商品の売買を勧めるではありません。取引を行う際はリスクを熟知した上で、完全なる自己責任において行って下さい。SEAHAWK PTE LTD および二次的に配信を行う会社は本レポートの利用あるいは取引により生ずる如何なる損害の責任を負うものではありません。なお、許可なく本レポートの全部もしくは一部の転送、複製、転用、検索可能システムへの保存はご遠慮ください。